

## (5) 人体が安定である限界浸水深の検討

日本国民に対する統計による平均寸法を用いて、左下図に示す人体モデルを考案し、津波に対する安定検討を行った。

検討結果を示す右下から、  
男性の安定限界は30cm前後  
女性のそれは25cm程度である。

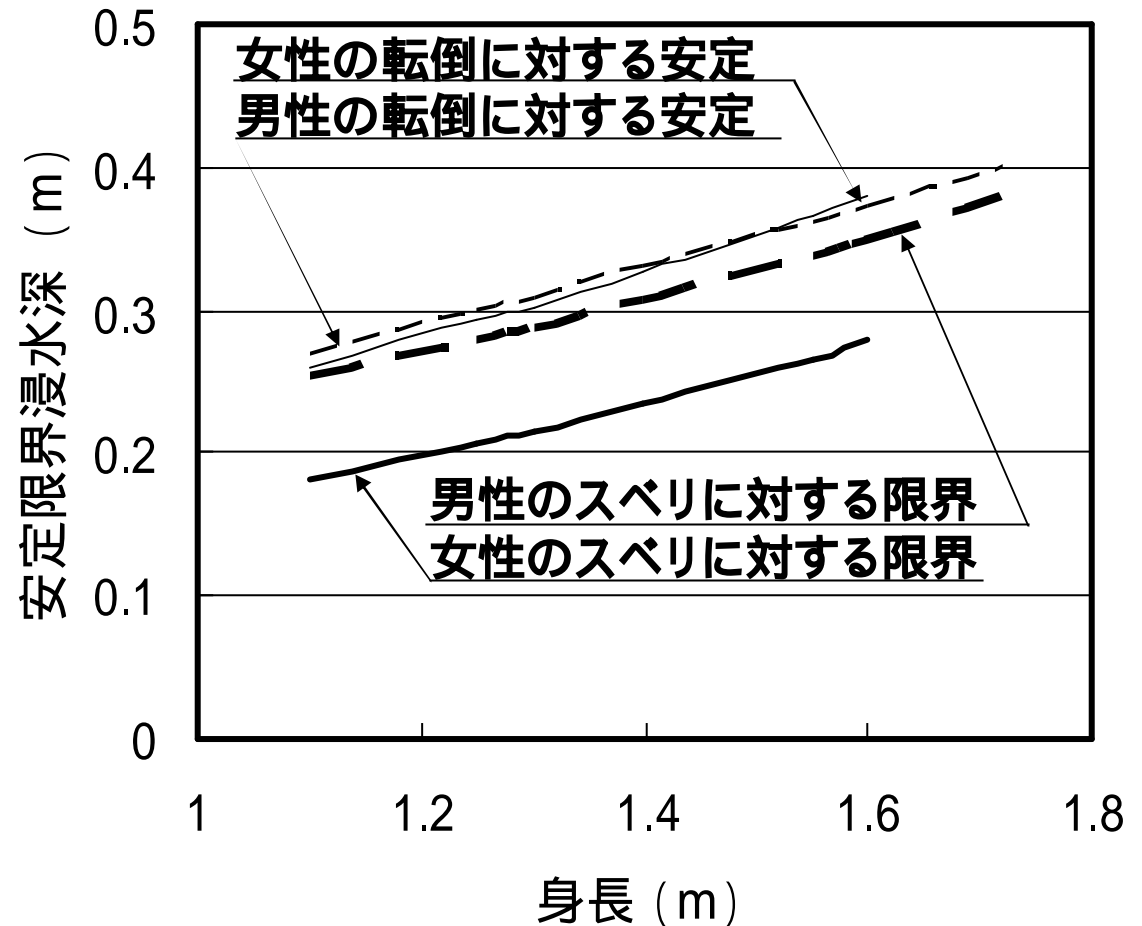
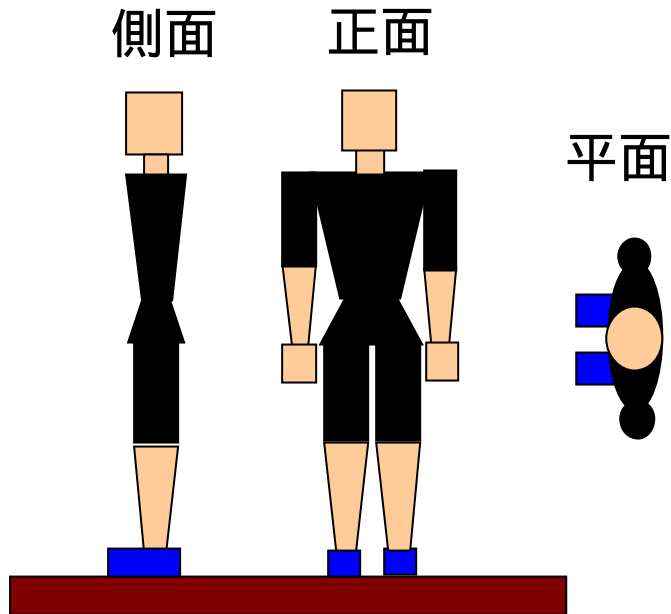


図-13 身長と安定限界水深の関係

## 主要な結論

- (1) カオラック海岸のような植生が広がっている地域では、色彩等に明瞭な違いが出るため、衛星画像から津波浸水の境界を比較的正確に判読できた。衛星画像は全体的概要把握に有効であるが、屋根の有る個別家屋の被害推定には適しておらず、衛星画像と要所の現地踏査資料とを照らし合わせることで、被害状況の把握が可能になった。
- (2) 経験的手法と数値シミュレーションによる家屋被害推定と、被害実態との一致度は良好であり、浸水深をパラメータに用いた家屋被害推定法の有効性を確認できた。
- (3) 戻り流れ時の護岸安定計算に必要な戻り流れの諸元や洗掘量を求める手法と、人体が安定であるための限界浸水深の評価図を提案できた。

以上から、津波による広域の被害を予測できる実用的な方法を提案できたと言える。